

資料 1

第 9 期（平成 2 9 年度）

事 業 報 告 書

自 平成 2 9 年 4 月 1 日

至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会

平成29年度は、前年度に引き続き、交通信号施設工事に関する諸問題を調査研究し、交通信号施設工事に係る施工技術の向上及び経営の合理化の促進を図るため、

- 交通信号施設の工事に関わる設計・施工及び保守技術の総合的研究
 - 調査研究成果の推進及び普及事業
 - 技術・技能研修事業
 - 交通信号工事士技能検定事業
 - 災害等非常時に即応する活動事業
 - その他この法人の目的を達成するための事業
- について実施した。

1 業務運営に関する主な行事

主な行事は次のとおりである。

(1) 定時総会 平成29年 5月22日(月)

審議事項

第1号議案 平成28年度事業報告及び収支計算書並びに監査報告に関する件

第2号議案 (一社)全国交通信号工事技術普及協会定款の一部改正に関する件

第3号議案 理事・監事任期満了に伴う新たな理事・監事の選任に関する件

(2) 理事会

審議事項

(第1回) 平成29年 4月17日(金)

第1号議案 平成29年度定時総会の開催に関する件

第2号議案 平成28年度事業報告及び収支計算書並びに監査報告に関する件

第3号議案 平成29年度事業計画書及び収支予算書の修正に関する件

第4号議案 理事・監事任期満了に伴う新たな理事・監事の選任に関する件

(第2回) 平成29年 5月22日(月)

第1号議案 代表理事選定に関する件

第2号議案 役員を選定に関する件

(第3回) 平成29年11月17日(金)

第1号議案 (一社)全国交通信号工事技術普及協会事務局長の選任に関する件

(第4回) 平成30年 3月 9日(金)

第1号議案 平成30年度事業計画及び収支予算書に関する件

第2号議案 (一社) 全国交通信号工事技術普及協会交通信号工事士技能検定規程の一部改正に関する件

第3号議案 平成30年度交通信号工事士技能検定実施要領に関する件

(3) 委員会

ア 総務委員会

理事長、副理事長、各委員会委員長等で構成され、当年度の事業計画に係る課題の推進方法等を検討し、また各委員会の取組状況の報告を求めて、取組内容、方法、スケジュール等の確認・調整を図った。

委員会開催数6回。

イ 交通信号工事士技能検定委員会

業務分野毎に、ハンドブック編纂作業部会、資格更新・技術講習会作業部会、技能検定試験作業部会を設置し、各事業を推進した。

委員会開催数8回

ウ 防災対応委員会

業務分野毎に、防災協定作業部会、交通信号工事甲子園準備実行作業部会、安全衛生作業部会を設置し、各事業を推進した。

委員会開催数6回。

エ 交通信号工事品質向上研究委員会

理事長、副理事長、警視庁職員、当協会事業者職員、公益財団法人日本交通管理技術協会職員及び交通信号機メーカー職員で構成され、業務分担毎に作業部会を設置し、各事業を推進した。 委員会開催数 1回

カ 広報委員会

当協会ホームページの効果的運営、広報誌発行、情報収集活動、会員募集活動を推進した。委員会開催数4回

2 事業の概要

(1) 調査研究事業

ア 交通信号施設の工事に関わる設計・施工及び保守技術の総合的研究

(ア) 技術資料の編纂

交通信号工事品質向上委員会と交通信号工事士技能検定委員会共同により、交通信号工事設計ハンドブックを編纂した。

(イ) 交通信号工事の品質向上に関する調査研究

a 設計標準化WG

工事設計基準を交通信号工事設計ハンドブックとして編纂した。

b 交通信号工事適正化WG

工事施工基準を定めるに当たり、全国実態調査(使用部材、工法、不具合事案等)を行った。

(ウ) 交通信号施設の工事に関わる安全な設計・施工及び保守に関する

調査研究

トラブル事例を交通適正化WGにおいて収集し、分析した。

イ 交通信号施設に関わる物品販売及び斡旋

工事中部品、通信線材、信号柱、測定機材等の販売及び斡旋方を検討している。

ウ 会員の健康増進支援方を検討する。

安価かつ短時間測定癌検診（超音波エコー検診）を推奨し、全信工ホームページに掲載する予定。

エ 交通信号施設に関わる環境改善活動

a 志導塾において、現場代理人の資質向上方を検討した。

b 警察庁交通規制課長に分離発注の弊害を提言するとともに、当協会の活動状況を報告したところ、当協会の運営に理解を賜った。

(2) 調査研究成果の推進及び普及事業

ア 交通信号工事に関わる図書の刊行

交通信号工事施工ハンドブック、交通信号施設保守点検ハンドブック及び交通信号工事設計ハンドブックの編纂が完了し、下表のとおり交通信号関係者に提供した。

なお、保守点検ハンドブックと設計ハンドブックは、平成30年度第1種交通信号工事士技能検定の教材として活用する予定である。

	販売				贈呈	計
	会員	一般	警察	小計	会員等	
施工	205	15	2	222	12	234
保守点検	128	9	2	139	12	151
設計	60	0		60	480	540
計	393	24	4	421	504	925

イ 防災対応要綱第7条経営事項審査における確認書類の交付 会員会社6社に交付した。

(3) 技術・技能研修事業

ア 交通信号工事士更新講習会の実施

下表のとおり、講習会を実施した。

講習内容	講習 1 交通信号施設の概要 講習 2 施工技術・施工管理 講習 3 安全管理の方法			
	受験者数	会 員	一 般	計
盛岡	7			7
東京	34		2	36
名古屋	25			25
大阪	18		1	19
福岡	21			21
長崎	13			13
計	118		3	121

イ 特別講習会の実施

- ・期日 平成29年9月11日(月) 10時00分～16時15分
- ・場所 奈良市登大路町36-2 奈良商工会議所5階第ホール

講習内容	講習 1 工事施工上の留意点 講習 2 労働安全衛生法と施工上の事故防止 講習 3 現場代理人の責務と現場管理 講習 4 施工上必要な機器の知識と施工トラブル				
	受講者数	会 員	一 般	警 察	計
滋賀県	6	9	2		17
京都府	13	9	2		24
大阪府	24	16	3		43
兵庫県	2			2	4
奈良県	12	1		5	18
和歌山県	8			2	10
三重県	11				11
東京都	3				3
計	79	35	16		130

ウ 交通信号工事技術研修会(志導塾)の実施

(ア) 目的 現場代理人及び職長、管理者を対象に事例研究を行うことにより深い知識と知見を高めることを目的とする。

(イ) 事例研究

電柱の新設作業における安責者の具体的な責務

(ウ) 開催

第1回：平成29年4月28日 8人

第2回：平成29年6月9日 6人

(4) 交通信号工事士技能検定事業

ア 第2種交通信号工事士技能検定試験の実施

平成29年8月6日(日) 14:00～16:30 全国一斉に試験を実施したところ、90名が合格した。

資格保有者合計 2,444名うち行政職員55名

会場	受験者数		会員		一般等		計	
	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
仙台	10	4	9	7	19	11		
東京	27	22	15	11	42	33		
金沢	10	7	5	5	15	12		
名古屋	18	10	5	5	23	15		
大阪	13	6	10	8	23	14		
高松			4	2	4	2		
福岡	5		8	3	13	3		
計	83	49	56	41	139	90		

イ 第2種交通信号工事士技能検定受験準備研修会の実施

会場	受講者数		会員		一般		計	
	受講者数	合格者数	受講者数	合格者数	受講者数	合格者数	受講者数	合格者数
仙台			6		6		12	
東京			16		3		19	
金沢			10				10	
名古屋			10		3		13	
大阪			10		6		16	
福岡			3		1		4	
計			55		19		74	

ウ 第1種交通信号工事士技能検定諸規程等の策定

平成30年度から第1種交通信号工事士技能検定実施に向けて

- ・交通信号工事士技能検定規程の一部改正
- ・第1種交通信号工事士技能検定実施要領

- ・平成30年度第1種・第2種交通信号工事士技能検定パンフレット
- ・平成30年度第1種・第2種交通信号工事士技能検定新聞広告データを作成した。

(5) 災害等非常時に即応する活動事業

ア 災害時における交通安全施設の復旧に関する協定

(ア) 防災協定に関する実施要領の作成

平成29年6月5日、株式会社シンコーワ会議室において、三重県警察本部交通規制課課長等と協議した。

(イ) 情報伝達訓練

・H29. 9. 4

防災対応委員会において震災に備え、緊急時の情報伝達手段として携帯電話のショートメールを用いた訓練を実施した。

・H29. 10. 13

岩手県警察本部と全信工による情報伝達訓練を実施した。

・H30. 2. 15

岩手県警察本部交通規制課会議室において、情報伝達訓練に関する意見交換会を実施した。

岩手県警察交通規制課：棚瀬補佐、上河原補佐

全信工：川村常務理事、竹重委員長、竹野副委員長、塩野理事

全信工会員：岩手電工(株)、小山田電業(株)、遠野新高電気(株)、(有)渡辺電気、設楽電気(株)、南部電気工事(株)、馬淵川電気(株)、岩館電気(株)

(ウ) 京都府警察本部に協定締結への働き掛けを行った。

(6) その他この法人の目的を達成するための事業

ア 関係行政機関への協力及び提言

(ア) 警察庁及び秋田県警に、材工分離契約の弊害を説明し、再考するよう提言した。

(イ) 警視庁に対し、入札参加資格審査条件に、第2種交通信号工事資格を入れるように提言したところ、平成29年度は、委任工事の発注者に対して交通信号工事等の有資格技術者での実施になるよう配慮してもらうこととなり、信号工事士の入札参加資格の承認についての第1歩を踏み出した。

イ 関係団体への加入及び連携による業務改善活動

一般社団法人交通工学研究会と連携して、前(イ)項の成果を得た。

ウ 広報活動

(ア) 情報収集活動の推進

- ・全信工の活動説明資料として、広報用ビデオを作成し、全会員に提

供するとともに、全信工ホームページに掲載した。

- ・ 特別講習会（官民協力開催）の全国展開をサポートするため、奈良県で実施した特別講習会をモデルに広報ビデオを作成した。
- ・ 近畿管内全府県警察本部に聴き取り調査を行った。
- ・ 平成30年1月16日、三重県警察本部長の来賓招待により古市常務理事が出席し、三重県知事を始め列席者に全信工をPRした。

(イ) 全信工ホームページの効果的運営

ホームページを刷新し、動画及び最新情報を掲載する等効果的に運用した。

(ウ) 広報誌発行

全信工第22号ニュース（交通信号甲子園の開催、インフラ設備の長寿命化対策等を掲載）を発行し、警察関係機関に提供した。

(エ) 交通信号工事技術普及に関する巡回説明

岩手県警察本部交通規制課長、県内全警察署長及び交通課長に交通信号工事施工ハンドブックを贈呈するとともに、工事並びに保守点検は、交通信号工事士資格保有者に担当させるようお願いした。

（信号工事や保守点検時に発注者側の警察から、工事業者に対して講習等を受講し交通信号工事士の資格を有している者に担当させるように注文して欲しい）

エ 会員募集活動の推進

理事長、事務局長、各理事が中心となり、5都府県の業者を訪問し本会活動の状況を説明し、入会を勧めた結果、会員数は215となった。

当協会発足から現在までの会員の推移は、つぎのとおりである。

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
正会員	入会者数	70	30	21	12	9	12	6	11	5
	退会者数				3	3		2	4	1
	現在数	70	100	121	130	136	148	152	159	163
準会員	入会者数	14	9	20	8	2	17	1	1	2
	退会者数				2	2	6	4	4	4
	現在数	14	23	43	49	49	60	57	54	52
計	入会者数	84	39	41	20	11	29	7	12	7
	退会者数				5	5	6	6	8	5
	現在数	84	123	164	179	185	208	209	213	215

オ 交通信号工事のブランド力の向上

交通信号工事甲子園の開催

(ア) 交通信号工事甲子園の開催

a 交通信号工事甲子園（関東版）

- ①期 日：平成29年5月26日（金）
- ②場 所：埼玉県児玉郡上里町 株式会社カンドー工場内
- ③競技参加者：4企業16名
- ④来賓者：警視庁交通部交通管制課 管理官 宮田 晋
（公財）日本交通管理技術協会 参事 野田素良
- ⑤見学者：33企業約130名
- ⑥競技結果：優勝：(株)丸井電設、審査員特別賞 三信電工(株)
技術部門賞：(株)東管
安全部門賞：埼玉ユニオンサービス(株)
ベスト代理人賞：(株)丸井電設 浦崎竜一

⑦その他

競技開始前に交通信号柱の昇降訓練等の研修を実施した。

研修会参加：12企業36名

b 交通信号工事甲子園（防災版）

- ①期 日：平成29年6月5日（月）
- ②場 所：三重県菰野町株式会社シンコーワ敷地内
- ③競技参加者：4企業16名
- ④来賓者：三重県知事 鈴木英敬
三重県警交通規制課長 西久保 陽他
京都府警交通規制課長 姫野敦秀
- ⑤見学者：30企業約80名
- ⑥競技結果：優勝：常盤電業(株)、準優勝：五島電気建設(株)
3位：(株)アサヒ電設
最優秀班長賞：五島電気建設(株) 前川健司

⑦その他

競技会前にデモンストレーションを実施した。

- ・ 短時間で施工可能な信号柱基礎を利用した施工方法
- ・ (株)シンコーワによる模範演技と模範審査